

第4章

重点プロジェクト、 評価指標及び推進体制



1 重点プロジェクト

おおいた文化・芸術推進プラン2024の着実な推進に向けて、3つの基本目標(はぐくむ、ささえる、つなぐ)における重点的かつ横断的に取り組む施策を重点プロジェクトとします。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける文化・芸術活動については、特別プロジェクトとして支援の強化を図ります。

はぐくむ おおいた夢色音楽プロジェクトの推進

本市が日本における「西洋音楽発祥の地」であることに加え、年間を通して音楽があふれ、道行く人が心とむような「音楽のまち大分」を実現するため、2008(平成20)年度から「おおいた夢色音楽プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトを一層推進することで、身近な場所で気軽に多彩な音楽に触れる機会の充実を図ります。



のつはる音の森フェスティバル

評価指標名	現状値	目標値
おおいた夢色音楽プロジェクト総来場者数	53,884人	57,000人
	※P40参照	2021～2024年度の平均値

ささえる アーティストバンクの設立・活用

本市では、多種多様な文化・芸術団体や個人のアーティストが主体的・創造的な活動を展開しています。「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」のレガシーの継承及び文化・芸術活動のさらなる支援の強化を図るため、文化・芸術団体や個人のアーティストの活動内容や文化施設等の情報を集積、公開し、地域、企業等とのマッチングを図ることで、発表及び活動の機会の拡充を図ります。



創作活動の様子

評価指標名	現状値	目標値
アーティストバンク登録件数(団体)	-件	126件
		2024年度見込

つなぐ 文化・芸術×関連事業の創出

文化・芸術が有する創造性を領域横断的に活用し、新たな価値を創出することで、多方面において相乗効果を生み出すことができます。観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野において、文化・芸術との連携事業の創出を図ります。



おおいたデザイン・エイド

評価指標名	現状値	目標値
文化・芸術と関連分野との連携事業数	7件	12件
	2020年度実績	2024年度見込

特別プロジェクト 文化・芸術活動エールプロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響により、文化・芸術活動を自粛・縮小せざるを得ない状況にあります。このような状況下において、文化・芸術は、人と人との絆を結び直し、多様な価値観が共存する創造性あふれる社会を築く上で必要不可欠です。文化・芸術団体や個人のアーティストの継続的な文化・芸術活動を支援します。



- ・大分市文化・芸術活動推進補助金の拡充
- ・国等の補助制度の周知
- ・市独自の支援の検討 等

2 評価指標

評価指標名	現状値	目標値
重点プロジェクト おおいた夢色音楽プロジェクトの推進 おおいた夢色音楽プロジェクト総来場者数 ※1	53,884人 ※2	57,000人 (2021～2024年度平均値)
重点プロジェクト アーティストバンクの設立・活用 アーティストバンク登録件数（団体） ※3	- 件	126件 (2024年度見込)
重点プロジェクト 文化・芸術×関連事業の創出 文化・芸術と関連分野との連携事業数	7件 (2020年度実績)	12件 (2024年度見込)
大分市文化・芸術に関する市民アンケート調査 「大分市が文化・芸術が盛んなまち (思う・ある程度思うと回答する割合)」	41.7% (2019年度実績)	45.0% (2024年度見込)
文化ホールの利用者数 (コンパルホール、ホルトホール大分の 市民ホール、平和市民公園能楽堂)	379,673人 (2018年度実績)	417,000人 (2024年度見込)
大分市美術館の利用者数	380,729人 (2016～2018年度平均値)	500,000人 (2020～2024年度平均値)
アートプラザの利用者数	170,505人 (2016～2018年度平均値)	180,000人 (2020～2024年度平均値)
歴史資料館の利用者数	43,346人 (2018年度実績)	47,500人 (2024年度見込)
大友氏館跡（庭園・交流館）への来場者数	8,690人 (2018年度実績)	24,000人 (2024年度見込)

※1 おおいた夢色音楽プロジェクトとは、どこでもコンサート、ふるさとコンサート、のつはる音の森フェスティバル、おおいた夢色音楽祭を総称した事業名です。

※2 評価指標の現状値について、おおいた夢色音楽祭は2012年度～2016年度の5年間平均(2018年の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭及び2019年のラグビーワールドカップ2019日本大会との同時開催分を除く)としています。どこでもコンサート及びふるさとコンサートは新型コロナウイルス感染症等の影響前の2018年度、のつはる音の森フェスティバルは初開催の2020年度を基準としています。

※3 アーティストバンク登録件数(個人)の評価指標は、2022(令和4)年度以降のアーティストバンク開設後に設定します。

3 推進体制

市民、文化・芸術団体、アーティスト、地域、企業、関係機関等と連携・協力を図りながら、本プランを推進します。また、本プランの着実な推進を図るため、外部の有識者等で構成される委員会を設置し、各基本施策における取組項目の実施状況の把握やPDCAサイクル※に基づく評価、意見交換等を行うとともに、様々な社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて、基本施策や重点プロジェクト等の見直しの検討を行います。

